



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2018年 7月

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6205-4377 Fax.03-6205-4378

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

第22回日本太鼓チャリティコンサートを開催 「一般社団法人 日本賢人会議所」の事業活動を支援



フィナーレ

5月31日(木)、恒例の日本太鼓チャリティコンサートを日本財団の助成事業として草月ホール(東京都港区)にて開催いたしました。今回はシニア世代の健全な自立を促し、これに賛同する会員の知識や経験を生かしつつ、同世代、次世代に向けての提言を行っている「一般社団法人日本賢人会議所」を支援するために実施いたしました。

公演には、各国の大使、政・官・財界各分野で活躍されている約300名の方々にご出席頂きました。会場には、同会議所の活動を紹介するパネルが展示され、多くのお客様の関心を集めました。

開演に先立ち、主催者を代表して塩見和子理事長の挨拶の後、共催者を代表して一般社団法人日本賢人会議所の橋本久美子会長にご挨拶を頂きました。

当財団加盟約700団体から選ばれた4団体に加え、昨年11月に開催された「第14回日本太鼓シニアコンクール」で名人位に輝いた和田光則氏(静岡・金谷大井川川越し太鼓保存会代表)と、本年3月に開催された「第20回日本太鼓ジュニアコンクール」の優勝団体「三代目源流少年隊」(大分)が出演し、6団体による演奏が行われました。

トップを飾っての「和太鼓集団 和楽」(鹿児島)は、NHK大河ドラマ「西郷どん」で話題の鹿児島から駆けつけて頂き、元気一杯の太鼓を披露しました。続いて「新潟ろうあ万代太鼓豊龍会」(新潟)は、全員がろう者の方で構成されている団体で、樽太鼓を加えた演奏に、お客様から大きな拍手を受けていました。「和太鼓会和光太鼓」(東京)は、粋な佇さばきを継承

している団体で、独自の太鼓を披露されました。昨年のシニアコンクールで名人位を獲得された和田光則氏(静岡・金谷大井川川越し太鼓保存会)は、普段は知的障害者の指導をされておりますが、シニアコンクールを再現するように大太鼓の神髄を披露し、しっかりと響きのある音でした。続いての登場は、石川県能登半島から「御陣乗太鼓保存会」の皆さんです。その昔、上杉勢が海から攻め込んだ際に、おどろおどろしい面を被り太鼓を演奏して追い払ったと言われる伝説を今も伝える伝統太鼓チームです。迫力のある力強い太鼓を披露されました。最後は「三代目源流少年隊」(大分)の演奏です。第20回日本太鼓ジュニアコンクールにおいて初優勝に輝いた団体が、課題曲「啓開」と自由曲「天地源流」を披露しました。曲名の「天地源流」は地元由布院の風景をイメージした曲です。予選536団体、5,704名(ブラジル・台湾含む)から選ばれた60団体の激戦を勝ち抜いた見事な演奏にお客様から惜しめない拍手が贈られました。

フィナーレは、出演者全員が舞台上がり、塩見理事長の音頭でお客様とともに恒例の手締めで幕を閉めました。コンサート終了後には、帰路に着くお客様のために全団体が通路に並び、会場出口では「三代目源流少年隊」が送り太鼓を演奏しました。観客の皆様は、「太鼓に元気をもらった」「感動した!」と喜んでおられ、出演者に握手を求めるお客様も見られました。皆様のご協力により1,155,000円の募金が集まり、全額を一般社団法人日本賢人会議所にお渡しいたしました。プロジェクトの一つである「南太平洋の島の子供たちを東京オリンピック・パラリンピックへ」プロジェクトのために活かしたいとのことでした。ご来場頂いた皆様並びに出演者の方々に心より感謝申し上げます。

<出演団体>

1. 和太鼓集団 和楽(鹿児島)
2. 新潟ろうあ万代太鼓豊龍会(新潟)
3. 和太鼓会 和光太鼓(東京)
4. 和田光則(静岡・金谷大井川川越し太鼓保存会)
* 第14回日本太鼓シニアコンクール名人位
5. 御陣乗太鼓保存会(石川)
6. 三代目源流少年隊(大分)
* 第20回日本太鼓ジュニアコンクール優勝団体

*「一般社団法人 日本賢人会議所」よりご寄稿頂きました。



一般社団法人 日本賢人会議所 副会長 栗山 昌子

「ドーン」という五臓六腑の深いところまでも震わせる大太鼓の音で始まったコンサートでした。その響きで私たちの心も目覚め、新しいものの震えを感じました。

第22回目の太鼓チャリティコンサートを、私たち日本賢人会議所の「南太平洋の島の子供たちを東京オリンピック・パラリンピックへ」プロジェクトへの協力ということで開催して下さい、有り難うございました。

2020年のオリンピック・パラリンピックが東京に決まったときに、皆が笑顔で喜びました。その年に日本賢人会議所は発足したのです。賢人とは、歳を重ねて様々な経験をし、学んできた人達のことです。だからこそ、まだこの世の中で自分を生かし役に立つことがあるとの思いなのです。枯れたように見えるところにも種があり、それを若い世代と一緒に育てることによって

新しい芽生えがあることを信じています。私たちの世代は、1964年の東京オリンピックを経験しました。それが日本国にとっても、とくに若かった私たち世代には様々な意味で、大きな飛躍の時となりました。世界を身近に知ることでもあったのです。そういう機会が安易に回ってくるわけではありません。私たちが幸運にも再び頂いたこの「時」に、近隣の国の子供たちと手を取り合って喜びを分かち合っていきたいと思えます。

日本の各地の文化に根ざした太鼓の響き、それを演じる人々の思いは、私たちにとっても懐かしいふるさとなのです。日本人が長くそれぞれの地で育んできた心です。私たちの親善への思いを、皆様方が太鼓の熱演とその響きに乗せて、海を越えて違う文化を持つ島の人々へ届けて下さることに感謝しています。それによって、私たちもまたその国の人々の持つ文化や考え方に接していくことなのでしょう。このような文化交流の積み重ねが、お互いへの理解と親しみをより意義深いものにすると思っています。

このたび頂いた温かいご芳志1,155,000円は、全額このプロジェクトのために使わせて頂きます。引き続き皆さまのお力で我々老人の背中を「ドーン」と押して下さい。と一緒に平和への夢を見たいと思えます。私たちの企画に心を寄せ、多大なご配慮を下さった日本太鼓財団の塩見和子理事長をはじめ、皆さま方に感謝し、全国各地で活躍される太鼓グループの一層のご発展を祈念いたします。

*「和太鼓集団和楽」、「新潟ろうあ万代太鼓豊龍会」よりご寄稿頂きました。

和太鼓集団 和楽(鹿児島) 代表代行 佐賀 宏史

はじめに第22回日本太鼓チャリティコンサートへ、鹿児島県の代表として出演させて頂けたことに、打手一同、心より御礼申し上げます。各々の打手が、日本太鼓の持つ大きな力に負けないよう、一打！一打！丁寧に音を奏で楽曲にし、心で伝え、技で魅了し、体で魅せる。今回演奏させて頂いた、桜火ノ島、鹿児島民謡みくに丸、そして邂逅。邂逅とは、偶然な良き出逢い…。会場のお客さまとの出逢い、財団の皆さまや関係スタッフの皆さま、また出演された皆さまとの出逢いへと繋がっていくよう、思いを込めて演奏させて頂きました。

最後になりますが、このたびのご厚情にお応えするためにも、日本太鼓というパートナーとの出逢いに感謝し、打手一同ますます精進する所存でございます。改めまして、今回お力添えを頂きました財団の皆さま、その他関係スタッフの皆さまに感謝いたしますと共に、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



新潟ろうあ万代太鼓豊龍会(新潟) 代表 佐藤 健一

このたびは、公益財団法人日本太鼓財団の皆様のご厚意により、第22回日本太鼓チャリティコンサートに出演させて頂き心より感謝申し上げます。私たち、新潟ろうあ万代太鼓豊龍会は、聴覚障がい者の団体です。毎年開催される、日本太鼓全国障害者大会に出演させて頂いております。今回は更にレベルが高く、全国的に有名な皆様と共演でき大変光栄に思っております。色んな太鼓の表現や動き、打者の魂を身体全身に浴び見る事ができました。また共演者とお話ができ励ましを頂戴し、とても印象深いものになりました。

観客の在日大使館、政財界、音楽界等関係者の皆様の前で、緊張もありましたが、2曲を披露でき、皆様から一斉に上がったヒラヒラ拍手は最高で感無量でした。参加したメンバー1人ひとりが学び得た事を、今後の活動に活かし豊龍会は邁進し続けていきます。最後に私達聴覚障がい者の為に、暖かいお力添え頂きました日本太鼓財団の皆様をはじめ、日本太鼓関係者の皆様本当にありがとうございました。





和太鼓会 和光太鼓(東京)



御陣乗太鼓保存会(石川)



和田光則(静岡・金谷大井川越し太鼓保存会)



三代目源流少年隊(大分)

<第62回日本太鼓全国講習会(群馬)>

6月2・3日(土日)、群馬県支部主管の全国講習会を藤岡市の「藤岡市みかぼみらい館」にて実施いたしました。地元群馬県をはじめ、15都県から67名が受講し、開会式では、塩見和子理事長、群馬県支部上原徳夫支部長、来賓として藤岡市の新井雅博市長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶がありました。2日間の講習会では、受講生たちは皆熱心に講習を受けていました。

総合指導 古屋 邦夫

○基本講座

3級基本講座 鈴木 孝喜

4級基本講座 渡辺徳太郎

5級基本講座 渡辺 洋一

更新研修会講師 浅野昭利((一財)浅野太鼓文化研究所理事長)、長谷川義(副会長)、古屋邦夫(技術委員長)

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定 15名受験 15名合格(2名認定)

2級検定 11名受験 11名合格(7名認定)

3級検定 6名受験 6名合格・認定

4級検定 16名受験 16名合格・認定

5級検定 10名受験 10名合格・認定

◇第7期公認指導員更新研修会

87名が更新手続きを完了しました。

○専門講座

尾張新次郎太鼓講座 安井 富(愛知)

大江戸助六太鼓講座 小林 正道(東京)

大太鼓講座 山内 強嗣(静岡)

専門講座講話 長谷川 義(副会長)



4級基本講座の様子

<第80回日本太鼓支部講習会(北海道道南)>

6月23・24日(土日)、北海道道南支部主催による支部講習会が室蘭市の「だんパラサンパワー380」で行われました。今回は地元北海道から35名が参加しました。

開会式では太田義高北海道太鼓連合会会長、当財団大澤和彦常務理事からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。受講生たちは初夏の過ごしやすい気候の中、2日間一生懸命受講していました。

○総合指導・5級基本講座 古屋 邦夫

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

5級検定 35名受験 35名合格・認定



5級基本講座の様子

助六太鼓が囲碁大会レセプションに演奏協力

4月19日(木)、世界で活躍する20歳以下の囲碁棋士を対象とした「グロービス杯世界囲碁 U-20」のレセプションにおいて日本棋院からの出演依頼を受け、助六太鼓(東京)が演奏を披露いたしました。当日会場には世界各国から集まった若手の囲碁棋士を含む、約100名の観客が助六太鼓の粋な演奏に見入っていました。



◆第20回日本太鼓ジュニアコンクールに出場した海外2団体より感想文を頂きました◆

ブラジル 「サンミゲル・アルカンジョ コロニア・ピニャール飛翔太鼓」

代表 古庄 慶治 マルセーロ

今回、私は太鼓部長として、そして親として日本太鼓ジュニアコンクールの遠征へ行かせてもらいました。日本での雪、温泉、富士山は、子供たちにとって初めてで、とても思い出深いものとなりました。桜の花にも恵まれ、一生の思い出になりました。

2018年3月25日(日)石川県金沢市で開催された第20回日本太鼓ジュニアコンクールも無事終わり、関係者の皆様は本当にお疲れ様でした。来年はブラジルよりまた異なる団体が行くと思いますが、その時はよろしくお願ひします。

今回の大会でも多大なる協力をくださった浅野太鼓が400年も経営が続いておりますこと、感動いたしました。大会後に群馬県、埼玉県の学校で行った演奏でも、浅野太鼓より太鼓をお貸し頂き、ありがとうございます。また、太鼓財団から国際友好賞として飛翔太鼓に長胴太鼓を贈呈して頂いたこと、誠に感謝しております。

群馬県、埼玉県での演奏後、JICA横浜海外移住資料館、東京タワー、ディズニールランドなどを巡ることができ、とても良い思い出になりました。日本太鼓財団を訪問した際には、塩見理事長とのお話で、「若い時にいろんな経験をする事」は私たちの一生に残るお話でした。ありがとうございました。



雪を楽しむブラジル・アルゼンチンチーム

演奏リーダー 古庄 真由美

2年前に出場した時は「たくさん楽しむこと」が私の願いでしたが、今年は初来日のメンバーを日本で楽しませてあげること、そして日本の経験が忘れられない思い出になるようにと考えていました。

ブラジルへ帰国し、日本での写真をスライドにし、皆で見ました。旅の思い出を見ていると、「また、行きたいな」と誰もが言いました。

太鼓は、いろんなことを一つにまとめる文化だと考えます。歌手はショーをするとき、1時間ぐらいの中で、多くの歌を歌います。そして、お客様を楽しませ、感動させます。でも、太鼓は1年以上、毎日毎日練習した1曲を5分間の中で発表します。その上、バレーボールのようなチームワークが必要です。バレーボールは、人と人の心が一緒につながっていません。ボールが落ちてしまいます。太鼓も同じです。

コロニアは小さな村だから、メンバーは少なくなっています。だから、太鼓のことをもっと知り、多くの経験を得て、コロニアだけでなくブラジルの社会へと広げていきたいです。

一度、日本を体験すると、誰もが「もう一度、日本へ」と強く願います。私達もその1人で、他の団体にもこの経験をしてもらいたいと思い、日本のことを伝えてきました。今や、日本へ行くことはブラジル太鼓選手の夢です。私たちは、ブラジルの真反対にある日本で、太鼓の起源を学ぶことが出来ました。この経験を決して忘れず、これからのブラジル太鼓選手の夢へとつなげていきます。この貴重な体験とそこから学んだことを胸に、これからも生きていきたいです。本当に、心から感謝申し上げます。

アルゼンチン 「ブエノスアイレス太鼓」

代表 栄口カロリーナ・アンドレア

今年、日本太鼓ジュニアコンクールで特別演奏として参加する機会を与えて頂き、2回目の参加となりました。

この機会では私たちの尊敬している太鼓のグループを生で見ることが出来て、とても感動しました。いつもビデオで見ているグループが目の前で演奏していて、挨拶をすることもできて、夢のようでした。とても印象に残ったのは長谷川先生が講師をくださった特別講習会でした。最初は息もできないほど緊張していましたが、時間が経つにつれて緊張が解け、とても楽しくなり、素晴らしい勉強になりました。長谷川先生が私たちと一緒に太鼓を打ち始めた時はアルゼンチングループのみんなの目が輝いていました。

太鼓の経験だけではなく日本の文化のことも学びました。おいしい和食を食べ、富士山も見ることが出来、みんなとの絆も深まると同時に太鼓への興味もさらに深くなりました。本当にありがとうございます。

演奏リーダー 兼島ミカ・アレクサンドラ

感謝。その気持ちを旅行中に心の底から感じました。喜び、悲しみ、悔しさ、怒り、満足感、恥、尊敬、今回はこんなにたくさん感情を経験することが出来たからこの遠征は一生忘れられない思い出になったと思います。

この遠征の楽しみの一つは太鼓団体の生演奏を見ることでした。アルゼンチンでも日本とブラジルのコンクールのビデオを音楽的、演出的、そして技術的に分析するために私達の先生と一緒に見ていました。しかしビデオで見ると生で見るとはあまりにも違います。客席で、ステージ上のみんなの集中した顔や頑張っている気持ちがすごく伝わってきました。また、学んだことは太鼓だけではなく、責任や礼儀、頑張る気持ち、物を大切にすることを感謝の気持ちをいつも持つことです。

日本で学んだ事を生かして太鼓のすばらしさをアルゼンチンでもっと広げることができるよう一生懸命頑張りたいと思います。

各種会議を開催

<理事会>

6月8日(金)、2018年度理事会が開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2017年度事業報告及び決算について

6月26日(火)、2018年度理事会が開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 理事改選に伴う役員の選定について

2. 評議員会の開催について

<評議員会>

6月26日(火)、2018年度定時評議員会が開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2017年度事業報告及び決算について

2. 任期満了に伴う理事の選任及び常勤役員の報酬について

<運営委員会・技術委員会>

1. 2017年度事業報告並び決算報告について

2. 2018年度事業の実施と今後の予定について

3. 日本太鼓資格認定事業について

4. 賛助会員の入会について

5. 中日本太鼓協会の設立について

6. 「ワールド太鼓カンファレンス」について

7. その他

<代議員会>

7月5日(木)、第21回代議員会と第62回運営委員会・第63回技術委員会の合同委員会を東京都港区の笹川記念会館にて開催いたしました。

代議員会には、45支部中、道央、三重、福井、広島、島根、徳島、沖縄を除く38支部、賛助会員、日本財団、財団事務局が出席、総勢105名により開会しました。冒頭、笹川良一氏、小口・池田両元副会長並びにこの1年間に亡くなられた故人に対し黙祷の後、議事に入りました。議事、承認された事項は次の通りです。

1. 2017年度事業報告並び決算報告について

2. 2018年度事業計画並び収支予算について

3. その他について

・第21回日本太鼓ジュニアコンクール予選一覧について

・全国大会県別出場一覧表について

・支部関連資料提出状況について

・財団事務局の移転について

・「ワールド太鼓カンファレンス」について

公認指導員誕生

日本太鼓財団創立20周年を記念して実施された公認指導員の特別推薦について新たに以下4名が3級公認指導員に認定されました。

齋藤隆司(群馬・絆太鼓)、山口穂高(東京・中野打越太鼓)、真鍋徹也(東京・太鼓集団天邪鬼)、川原邦裕(福岡・野武士)

認定された皆様おめでとうございます。2018年7月現在、1級公認指導員43名、2級36名、3級142名、合計221名となりました。今後の益々のご活躍を期待しております。

第12回台湾太鼓講習会

7月7・8日(土日)台湾太鼓協会主催の第12回台湾太鼓講習会を、台北桃園国際空港に近い「救國團復興青年活動中心」にて実施し、台湾全土から109名が受講しました。

開会式では、王妙涓理事長の挨拶に続き、総合指導の古屋邦夫技術委員長が講習会の内容を説明、日本からの講師を紹介しました。講習会が始まると、受講生たちは講師の指導を一生懸命聴いていました。

○3級基本講座 松枝 明美

4級基本講座 渡辺徳太郎

5級基本講座・総合指導 古屋 邦夫

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級検定 21名受験 21名合格・認定

4級検定 33名受験 33名合格・認定

5級検定 55名受験 55名合格・認定

今回は高島奈々(岐阜)、吉岡賢次(兵庫)の両氏が助手として参加されました。



5級基本講座の様子

「台湾太鼓協会」外務大臣表彰受賞

7月17日(火)、台湾太鼓協会が、日本との友好親善関係増進に貢献した個人や団体に与えられる外務大臣表彰を受賞しました。これは台湾における日本文化の普及が高く評価されたものです。誠にありがとうございます。詳細は次号10月号に掲載いたします。

事務局だより

平成30年7月豪雨 西日本を中心に大きな被害

このたびの「平成30年7月豪雨」災害により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

太鼓関係者については家屋の損傷等の被害はあったものの、幸いにも人的被害はございませんでした。しかしながら、例えば岡山県倉敷市真備町では、太鼓の保管場所が浸水するなど太鼓に被害が出ている地域もございます。つきましては、被害に遭われた連合・支部に対して、太鼓の購入・修理のために少しでもお力になればとの思いから支援金をお贈りしたいと思います。東日本大震災・熊本地震の際にも皆様からご協力をいただき、支援金をお贈りしたところ、被害に遭われた方々から多くの感謝が寄せられました。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

<支援金の口座>* 8月末までを目処に下記の口座にお振込みいただきますようお願いいたします。

三菱UFJ銀行 虎ノ門支店 普通1520760 日本太鼓財団 事務局 事務局長 大澤和彦

第3回大学太鼓フェスティバル

期日：2018年8月30日(木) 開場17:30 開演18:00 終演予定21:00

会場：文京シビックホール大ホール

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21 Tel.03-5803-1100

入場料：無料

主催：公益財団法人日本太鼓財団 共催：大学太鼓フェスティバル実行委員会

協力：株式会社宮本卯之助商店 協賛：日本財団

出演団体：12団体(6都県) 文教大学和太鼓部楓(神奈川)、西武文理大学和太鼓クラブ鼓月(埼玉)、

神田外語大学和太鼓サークル神樂(千葉)、多摩美術大学鑪水太鼓(東京)、

立教大学邦楽サークル「合唱団アヒル会」(東京)、洗足学園音楽大学和太鼓部「鼓弾」(神奈川)、

田中孝記念立教大学コミュニティ福祉学部和太鼓プロジェクト絆の会(埼玉)、

立命館アジア太平洋大学和太鼓"楽"(大分)、京都造形芸術大学和太鼓恵(京都)、

日本体育大学伝統芸能・和太鼓同好会(東京)、中央大学和太鼓サークル鼓央(東京)、武蔵野大学和太鼓隼(東京)

ゲスト団体：4団体(4都県)

三代目源流少年隊(大分)、倉敷天領太鼓(岡山)、八丈太鼓六人会(東京)、橘太鼓「響座」(宮崎)

第33回国民文化祭・おおいた2018「太鼓の祭典」

第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会

期日：2018年10月14日(日) 開場9:00 開演10:00 終演予定17:30

会場：ホルトホール大分市民ホール

〒870-0839 大分県大分市金池南1丁目5番1号 Tel.097-576-7555

入場料：無料

主催：文化庁、大分県、大分県教育委員会、第33回国民文化祭大分県実行委員会、大分市、大分市教育委員会、第33回国民文化祭大分市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団

主管：全九州太鼓連合、日本太鼓財団大分県支部

協賛：日本財団

出演団体：33団体(17都県+台湾)

◇オープニング 大分県太鼓連合同チーム(大分)

◇第一部 人吉ねぶか太鼓(熊本)、浜脇子ども太鼓(大分)、逢鷲太鼓連(鳥取)、龍潮太鼓鼓衆(宮崎)、風天太鼓保存会(佐賀)、大治太鼓保存会(愛知)、豊後みさき太鼓(大分)、城南火の君太鼓(熊本)、打吹童子ばやし(鳥取)、和太鼓一座天響(宮崎)、九州音鼓組(長崎)、會津田島太鼓保存会(福島)、銭太鼓高杉会(広島)、和太鼓大元組(東京)、火の神乙女太鼓爽(鹿児島)

◇第二部 台湾太鼓協会合同チーム(台湾)、吾北清流太鼓一番風(高知)、倉吉打吹太鼓奏者の会(鳥取)、大和太鼓保存会(佐賀)、広島文教女子大学日本太鼓部「文教太鼓仁」(広島)、下関市消防団海峡まとい太鼓(山口)、和太鼓集団野武士(福岡)、Japanese Drum and ☆Rock Jr. 奏(広島)、天孫降臨霧島九面太鼓保存会(鹿児島)、和太鼓会和光太鼓(東京)、大分県糸口学園糸口太鼓(大分)、橘太鼓「響座」(宮崎)

◇第三部(ゲスト団体) 三代目源流少年隊(大分)、新潟万代太鼓振興会(新潟)、倉敷天領太鼓(岡山)、御陣乗太鼓保存会(石川)、豊の国ゆふいん源流太鼓(大分)

第63回日本太鼓全国講習会(愛知県西尾市)

期日：2018年9月22・23日(土日)

会場：グリーンホテル三ヶ根

〒444-0701愛知県西尾市東幡豆町入会山1-287 Tel. 0563-62-4111

主催：公益財団法人日本太鼓財団

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座 専門講座

3級基本講座 安江 信寿 秩父屋台囃子講座(複式複打法) 高野 右吉(埼玉)

4級基本講座 若山 雷門 助六太鼓講座(単式複打法) 今泉 豊(東京)

5級基本講座(初心者講座) 松枝 明美 縮太鼓講座(単式単打法) 長谷川 義(大分)

専門講座講話 長谷川 義(副会長)

更新研修会講師 浅野昭利((一財)浅野太鼓文化研究所理事長)、長谷川義(副会長)、古屋邦夫(技術委員長)

申込先：公益財団法人日本太鼓財団

お問合せ：日本太鼓財団愛知県支部

〒105-0001東京都港区虎ノ門1-11-2-6F

事務局長 宮口賢一

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

Tel. 090-1562-1695 Fax. 052-612-7500

申込締切：9月7日(金) *当日到着分まで有効

第81回日本太鼓支部講習会(富山)

期日：2018年9月1・2日(土日)

お問合せ・申込先

会場：国立立山青少年自然の家(富山県立山町)

〒939-1362 富山県砺波市鍋島 123-15・フロンタNC-101

主催：日本太鼓財団富山県支部

日本太鼓財団富山県支部 事務局長 河合朋宣

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

Tel. 090-4326-7450 Fax. 03-6205-4378

3級基本講座 安江 信寿

4級基本講座 若山 雷門

申込締切：8月20日(月) *当日到着分まで有効

5級基本講座(初心者講座) 川口 亜香

第82回日本太鼓支部講習会(北海道道西)

期日：2018年9月29・30日(土日)

会場：幌向総合コミュニティセンターほっとかん(北海道岩見沢市)

主催：日本太鼓財団北海道道西支部

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座 専門講座

4級基本講座 橋本 光司 縮太鼓講座(単式単打法) 長谷川 義(大分)

5級基本講座 今池 薫

更新研修会講師 浅野 昭利((一財)浅野太鼓文化研究所理事長)、長谷川義(副会長)、古屋邦夫(技術委員長)

お問合せ・申込先

日本太鼓財団北海道道西支部 支部長 秦野智徳

〒069-0372北海道岩見沢市幌向南2条3丁目315-18

申込締切：9月10日(月) *当日到着分まで有効

Tel. 080-1899-5761 Fax. 0126-26-3939

第83回日本太鼓支部講習会(兵庫)

期日：2018年11月10・11日(土日)

お問合せ・申込先

会場：兵庫県立但馬文教府(兵庫県豊岡市)

〒667-0133 兵庫県養父市畑1310

主催：日本太鼓財団兵庫県支部

日本太鼓財団兵庫県支部 事務局長 奥藤啓

総合指導・5級基本講座

Tel. 090-2113-1480 Fax. 079-664-0827

古屋 邦夫(技術委員会委員長)

申込締切：10月22日(月) *当日到着分まで有効

第20回日本太鼓全国障害者大会

期日：2018年10月7日(日) 開場11:30 開演12:00 終演予定17:00

会場：文京シビックホール大ホール

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21 Tel. 03-5803-1100

入場料：無料*入場整理券が必要となりますので日本太鼓財団(03-6205-4377)までお問合せください。

主催：公益財団法人日本太鼓財団 共催：社会福祉法人富岳会

主管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部 協賛：日本財団 出場団体：約30団体

第15回日本太鼓シニアコンクール出場者募集

期日：2018年11月25日(日) 開演13:30*午前中に日本太鼓ジュニアコンクール石川県予選が開催されます。

会場：白山市松任文化会館

〒924-0872 石川県白山市古城町2番地 Tel. 076-276-5611

入場料:無料

主催：公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社

主管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会 協賛：日本財団

出場資格：①個人が審査の対象となる場合は大会当日満60歳以上であること。

(伴奏者は3名以内とし、伴奏者の年齢は問いません。)

②団体が審査の対象となる場合は、全員が大会当日満60歳以上であること。

(ただし伴奏者として60歳未満1名の出場を認めます。)

演奏時間：5分以内 表彰：名人位・準名人・特別賞等 費用：全ての費用は出場者の自己負担(参加料は不要)

お問合せ・申込先：公益財団法人日本太鼓財団 〒105-0001東京都港区虎ノ門1-11-2-6F 担当：印出、笠原

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

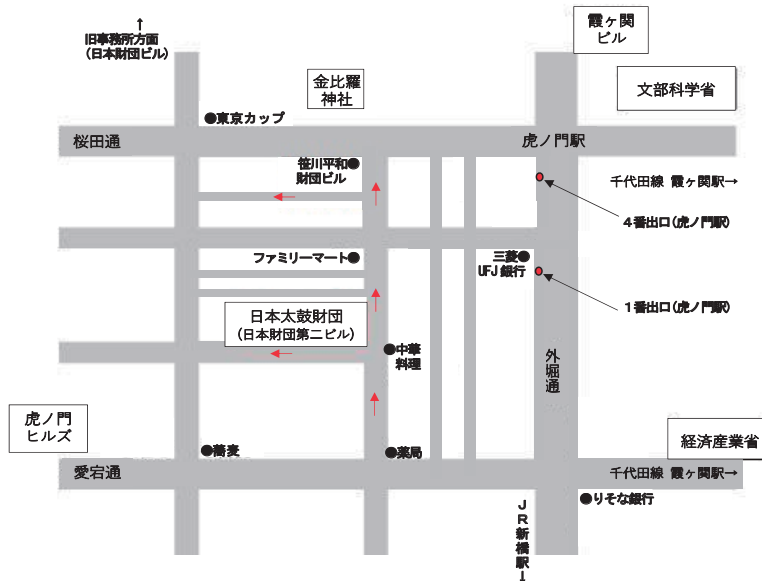
申込締切:8月31日(金)

事務所移転のお知らせ

このたび当財団は2018年7月17日付で事務局を下記住所へ移転致しました。つきましては、電話番号・ファックス番号にも変更がありますので合わせてお知らせ致します。今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11番2号 日本財団第二ビル6階

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378



●アクセス

- 東京メトロ 銀座線
「虎ノ門駅」1番出口を出て振り返し、三菱UFJ銀行を左折、次にファミリーマートを左折、2つ目のブロックを右折です。(徒歩5分)
- 東京メトロ 丸ノ内線・日比谷線・千代田線
「霞ヶ関駅」C2出口
西新橋一丁目信号を渡り、薬局を右折、次のブロックを左折です。(徒歩7分)

※↑赤い矢印は一方通行

※財団ビルに駐車場はございません。

※スマートフォンをお持ちの方は「日本財団第二ビル」でご検索ください。

公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

